



議会だより

令和元年8月1日



芳賀町夏祭り祇園祭(祖母井神社)
園部達也氏(ハツ木)撮影

主な内容

	ページ
6月定例会の概要.....	2~4
一般質問	5~8
聲<こえ>私のいいたいこと	9
議会日誌・編集室.....	10

□編集/芳賀町議会広報常任委員会
□発行/芳賀町議会
〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020
電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057
芳賀町議会ホームページ
<http://www.town.tochigi-haga.lg.jp/menu/torikumi/gikai/index.html>

正などの議案を可決

第 3 回 芳賀町議会 定例会

の要 例会 定概

令和元年第3回芳賀町議会定例会が6月10日から13日までの4日間の会期で開かれました。初日の6月10日は、町長から提出された議案の提案理由の説明を受けた後、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行いました。また、発議案件の趣旨説明、質疑・討論・採決を行いました。

一般質問は、6月12日に行い、3人の議員が町政について質問しました。最終日の6月13日には、報告案件についての質疑を行い、その他の議案の質疑・討論・採決をし、原案どおり可決しました。

また、総務・教育民生・産業建設常任委員会から申し出のあつた閉会中の継続調査を議決により許可することとし、追加議案として提出された副町長の選任同意案件についても採決を行い、定例会を閉会しました。

令和元年第3回芳賀町議会定例会提出議案

選任同意

□芳賀町副町長の選任同意について

議会定例会最終日の6月13日に上野哲男前副町長（6月14日で任期満了）の後任として古谷一良氏（稲毛田）を副町長に選任する人事案件が提出され、議員全員の同意により選任されました。



▲古谷一良氏

選挙

□芳賀町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

芳賀町選挙管理委員及び補充員が令和元年6月16日をもって任期満了となることから、6月10日の本会議において指名推薦による選挙を行い、次の方が当選されました。

- 高久典男（祖母井）
- 沼能靖（下高根沢）
- 北條正美（給部）
- 井本恵子（東水沼）
- 補充員
- 金子透（上延生）
- 中村信行（下高根沢）
- 手塚利夫（下延生）
- 大野谷文夫（東高橋）

6月21日に選挙管理委員会が行われ、委員長に

高久典男氏、職務代理者に北條正美氏が選任されました。

なお、欠員が生じた場合は金子透氏から順次補充されます。

取得

□財産の取得について（パソコン購入）

町職員用のパソコン300台を購入するもの。契約の方法は5社による指名競争入札で、額は消費税を加えて2187万円。

（質疑）江間田信一議員（討論なし、原案可決）

□財産の取得について（学校用パソコン購入）

学校用のパソコン134台を購入するもの。契約の方法は5社による指名競争入札で、額は消費税を加えて976万8600円。

（質疑、討論なし、原案可決）

締結

□委託工事契約の締結について

LR T整備事業に係る道路改良工事を栃木県に委託する委託工事契約を締結するもの。

（質疑、討論なし、原案可決）

報告

□繰越明許費繰越計算書の報告について（平成30年度芳賀町一般会計）

□繰越明許費繰越計算書の報告について（平成30年度芳賀町公共下水道事業特別会計）

平成31年第1回芳賀町議会定例会において議決された芳賀町一般会計補正予算第5号による繰越明許費と、芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算第1号による繰越明許費を令和元年度に繰り越したものの。

（質疑なし）



一般会計補正予算、条例改 副町長に古谷一良氏を選任

□公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について
□芳賀町ロマン開発株式会社の経営状況説明書の提出について
地方自治法第243条の3第2項の規定による両法人の経営状況の説明のため、同法施行令第173条第1項の規定に基づき、令和元年度の事業計画及び予算を報告するもの。

【質疑】北條勲議員

変更

□字の廃止及び字の区域の変更について

県営打越新田地区土地改良事業の施行の結果、事業実施後の現況に符合しない字の区域が生じたため、字の廃止及び字の区域の変更を行うもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

条例改正

□特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
国會議員の選挙等の執

行経費の基準に関する法律が改正（令和元年5月15日公布）され、国會議員の選挙等の執行について、国から地方公共団体に交付される額の基準が改正されたことから、条例の一部を改正するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

補正予算

□令和元年度芳賀町一般会計補正予算(第1号)

総額に5億3040万4千円を追加し、予算総額を92億8040万4千円とするもの。

【質疑】

小林 隆志議員
岡田 年弘議員
北條 勲議員
大根田 弘議員
山口菊一郎議員
中村由美子議員
(討論なし、原案可決)



令和元年度一般会計補正予算(第1号)の主な歳出

項目		補正額
総務費	消費税増税に伴うプレミアム付商品券の印刷製本費	150万円
	プレミアム付商品券の販売・精算業務などの委託料	8,522万円
	2020年東京オリンピック・パラリンピックのPRを地域で取り組むためのわがまち未来創造事業補助金	638万8千円
	振り込め詐欺などの特殊詐欺対策電話機等購入補助金	15万円
民生費	幼児教育無償化のためのシステム改修費	752万4千円
衛生費	風疹の追加的対策として予防接種などの委託料	348万2千円
農林水産費	農業用機械導入による水田フル活用促進整備事業補助金	879万8千円
	強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業	660万9千円
土木費	移転補償費再算定業務などの委託料	230万円
	【祖母井中央地区】水道管敷設などの工事請負費	700万円
	移転補償費	1億3,350万円
教育費	【LRT事業】信号保安・通信設備製造工事などの変電施設整備等	2億1,715万円
	レール購入による備品費	4,535万円
教育費	上延生自治会に対するコミュニティ助成事業助成金	250万円

委員会活動・常任委員会の議会閉会中の継続審査

総務常任委員会

調査事項

児童・生徒等の交通安全対策について

調査の目的

児童・生徒等の交通事故は、全国的に依然として発生している。次代を担う、かけがえのない命を地域全体で守ることは、極めて重要であることから先進的な事例を調査研究する。

常任委員会は、所管する町の事務について自主的に調査を行う権限を有しており、これを「所管事務調査」といいます。

総務・教育民生・産業建設常任委員会は、議会最終日の6月13日に閉会中の所管事務調査について議長に申し出し、議決により許可されました。各常任委員会は次のテーマについて調査を行い、12月定例会で調査結果を報告する予定です。

産業建設常任委員会

調査事項

空き家対策について

調査の目的

適切な管理が行われていない空き家が年々増えていて、地域住民にとっては、火災や衛生上問題となっている。空き家発生予防や空き家を活用した定住促進を実施している先進地の事例を調査研究する。

教育民生常任委員会

調査事項

学校部活動と総合型地域スポーツクラブとの関わりについて

調査の目的

中学校運動部活動をめぐっては、教員の過重労働の一因とされると共に、少子化による生徒数減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力をもつ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動が成り立たなくなる現状がある。このような中、外部指導者の活用も議論されるようになり、中学校運動部活動と総合型スポーツクラブが連携された先進事例を調査研究する。

陳 情

令和元年6月10日の定例会において意見書が採択され、栃木県知事宛に意見書を提出しました。

陳情名

医療費助成における精神障害者の適用に関する意見書の提出を求める陳情書

陳情者 栃木県精神保健福祉会

結果 採択

ここが聞きたい 3人の議員が一般質問

一般
質問

第3日目に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問しました。



石川 保 議員 (6ページ)

- ① LRTに伴う、かしの森公園の整備と沿線の住環境について
- ② 下原地区計画について



北條 勲 議員 (7ページ)

- ① 芳賀チャンネルについて
- ② 外国人の対応について



大根田 周平 議員 (8ページ)

- ① LRT導入による魅力あるまちづくりについて



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は9月3日からの予定です〉

みんなで議会を 傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも
放送します。

— 放映時間 —

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から





石川保が問う

LRTに伴う、かしの森公園の整備と沿線の住環境について

問 LRT開通に伴い、かしの森公園前には停留所ができ、利用者の高まりにより公園内各設備の再整備をどのように考えているのか。

答 町長 ①公園内グラウンドは野球以外の利用を考えています。②売店については、今後の状況を見極め検討していきます。③桜の公園として観光面でも重要な位置づけをしています。庁舎内検討組織を設け、全体整備の中で考えていきます。

再整備を検討する中で考えています。また、西側の出入り口については、雨水排水が課題となっており、一体的に整備できないか検討していきます。

また、周辺の生活道路の拡幅と安全性については、今後の交通状況に合わせて考えていきます。

問 LRT開通に伴い谷津ボックスカルバート付近の環境整備はどうなるか。

答 町長 LRTの騒音、振動については問題ないと考えています。ボックスカルバート内の狭小さについては、出入り口部分の改善を含め整備を検討していきます。

答 建設産業部長兼都市計画課長 出入り口の拡幅については、

下原地区計画の成功は芳賀町の発展に繋がる

問 少子高齢化が進む中、芳賀町には「工業団地やLRT」などポテンシャルの高い条件がそろっている。それらを活かしてこの計画を成功させることで若年層の定住を促進する位置付けにはならないか。

答 町長 第6次振興計画において若い年代の人口流出を人口減少の要因と捉え、分野にまたがるリーディングプロジェクトとして位置づけしていきます。地元まちづくり研究会と連携して地区計画を活用して既存住宅の環境改善と農地等都市的利用の転換を誘導し、生活の拠点の形成を図ります。



▲谷津ボックスカルバート



▲下原地区内を通る町道0116号線（三日市・工業団地線）

問 LRT開通に伴うトランジットセンターの整備により、下原地区一体の回遊性を活かした、歩道の安全性の一体的整備は。また、企業保有の空き家のあり方については。

答 建設産業部長兼都市計画課長 今後、地域住民、道路管理者、交通管理者と協議の上、歩行者安全性を最優先に考え、快適で安全・安心な生活環境と道路のあり方を検討します。また、企業保有の空き家については適切な管理をお願いするとともに、活用の方角性を考えていきます。



北條勲が問う 芳賀チャンネルについて

問 町長及び議員の選挙が今回放映されなかった理由は。

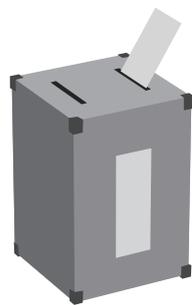
答 **選挙管理委員会委員長** 今回は開票の正確性と選挙結果を速やかに公表することが最重要と判断し、生中継は行わず、芳賀チャンネルのデータ放送と芳賀町ホームページでの開票速報としたためです。

問 芳賀チャンネルの放映権は。

答 **選挙管理委員会書記長** 基本的に管理運営は企画課です。選挙については選挙管理委員会です。

問 芳賀チャンネルの選挙の関心度をデータ放送でアンケートできないか。

答 **企画課長** 押しボタン方式の機能は確認していません。毎年、加入者に行っている放送に関するアンケート調査の中に取り入れます。



問 芳賀チャンネルの総費用額は。

答 **企画課長** 平成20年から30年までで約11億2100万円です。

外国人の対応について

問 今年の4月から出入国管理法が改正され5年間で34万人を受け入れる見込みです。当町での外国人の対応は。

答 **町長** 特定技能を取得するためには日本語が理解できると、また、外国人と直接雇用契約を結ぶ企業は、職場・日常・社会の各生活の支援が義務付けられています。県でも今年の4月に、とちぎ外国人相談サポートセンターを開設し対応しています。当町の4月現在の外国人は150人です。技能実習生は受け入れ先の事業主が付き添って来ます。現在、通訳の支援の求めはありません。しかし、支援の求めがある場合には県

等と連携し対応を考えます。

問 外国人の主な国は。

答 **住民課長** 現在17ヶ国です。国別では中国人45人、ブラジル人27人、ベトナム人23人などです。

問 農業に従事している外国人の人数は。

答 **農政課長** 技能実習に分類される農業研修生は23人です。

問 外国人対応の防災マニュアルは。

答 **総務企画部長** 外国語の申し出が出てきた場合は検討します。

問 お互いに自国語のままでも対話できる通訳機を設置する考えは。

答 **企画課長** 今後、需要に応じて必要かどうか検討します。





大根田周平が問う LRT導入による 魅力あるまちづくりについて

問 下原地区計画の進捗状況は。

答 町長 平成29年度に策定した行政素案のまちづくり構想をふまえて、町都市計画課と下原地区まちづくり研究会が連携して検討しています。これまでに地区内の意向調査、役員によるまち歩き、地区座談会などを実施しました。本年度は公共施設の整備や良好な環境形成のためのルール策定など、具体的な議論を重ね、LRT、トランジットセンターの整備による波及効果を生かした生活拠点の形成を目指したいと考えています。

答 建設産業部長兼都市計画課長 県の類型用途地域の「第二種低層住居専用地域」と同程度にすることが望ましいのではないかと考えています。指定すると小規模店舗、福祉施設などの建設、道路、雨水排水など生活環境の向上に役立つと考えています。

問 まちづくり研究会に建築家や建設業界の代表者などを加えて提案してもらっては。

答 建設産業部長兼都市計画課長 研究会の役員さんなどと協議しながら検討していきたいと思えます。

答 建設産業部長兼都市計画課長 先進事例などを研究・調査しながら検討したいと考えています。

問 祖母井市街地まで延伸した場合トランジットセンターはどの辺に設置するのか。

答 町長 交通手段とだけでなく、既存施設との連携や地域拠点として、まちづくりの全体像を含めた検討が必要であり、構想をより具体化できるよう取り組んで参ります。

湯と一体となった観光資源として定着しており、現状のまま存続させたいと考えています。肉の駅については、食肉の卸売市場が直営店として設置している例があるようですが、現時点で同様の施設を設置する予定はありません。なお、食肉センターが建設される元畜産試験場跡地27ヘクタールのうち、残りの17ヘクタールについては栃木県が利用方法を検討しています。

問 道の駅を移転した跡地に農業者トレーニングセンターと保健センターを統合し仮称「総合保健福祉センター」を建設しては。

答 町長 これまでの答弁で申し上げたとおり、道の駅を今後

えであることから、現時点で提案の施設を建設する計画はありません。しかし、保健センターは築39年が経過し、施設の老朽化が見られるほか、多様化する健康ニーズにも必ずしも対応できない状況ですので、財政状況などを勘案し、本年度策定する第6次振興計画の中期基本計画で整備の検討を進めます。

問 下原地区は現在、市街化調整区域ですが用途地域に変更する考えは。

答 まちづくりの都市空間をコンピューターの中で立体化して様々な視点で確認できるバーチャルリアリ



▲LRT導入のイメージ図



するが とみお
駿河 富夫さん
 (稲毛田)

変革する町づくりを期待

ここに住んで三十数年、刻々と変わる町づくりがここに来て大きな「うねり」を感じています。LRTの導入、芳賀第2工業団地の促進、祖陽が丘の造成分譲等々、芳賀町に大きな変革が見えてきました。それぞれの項目で今までにない事業が進むなか、これからの芳賀町の長期展望を見据えて、どのような姿に進んでいくかが重要に思います。「町民の町民による町民のため」の政治姿勢が問われていくことでしょう。

私は今、最大の関心事項は、定住者促進事業の強力展開です。芳賀町は昔、2万1千人もいたと聞きました。将来は、町から市に向かっていくような大きな夢に向かって、町づくりが一步一步着実に進むことを期待しています。子供の未来、夢のある芳賀町を町民一体となり考えていく、また、政治力を希望しています。芳賀町には素晴らしい人材がたくさんいます。その知恵と知識を生かしていければと思います。



たかはし としお
高橋 利夫さん
 (芳志戸)

持続可能な財政と町政の充実化を目指して

現在、芳賀町は県内トップの財政力のある町のようなのですが、まだ、将来にわたって持続可能な財政ではないようです。そこで、町では持続可能な財政にするために、今秋より、本田技術研究所南側に産業団地を造り、そこに優良企業を誘致して、さらに税収アップを図り持続可能な財政基盤をつくるようです。こうした安定基盤のなかで、今まで以上に、各種産業のさらなる発展と、社会福祉、学校教育、子育て支援の充実、また住宅面では住宅団地の造成と分譲、そして交通面ではただ今、宇都宮市と工事が行われているLRTを中心とした公共交通の利便性を高め、通勤、通学、また、病院の通院など子どもからお年寄りまでが便利に利用できるような、芳賀町にしていきたいと思います。町執行部、議会議員の方々には一層のご尽力をお願いいたします。



しおた ひでき
塩田 秀樹さん
 (西水沼)

高齢化社会について

令和新時代になって3ヶ月が経過して次の世代について考えてみました。今、日本が直面する現実に労働人口の減少があります。いわゆる団塊の世代の出生数は805万人に対して現在は284万人と、この間に出生数が65%も減少しています。かつ平均寿命の推移をみても、100歳時代といわれています。間もなく65%も減少した若者が、高齢者を支える時代が来ます。芳賀町においても例外ではありません。そのため、地方においてはコンパクトシティやスモールコミュニティーの考えが重要だと考えています。これから先、財政は緩やかに厳しくなると予想されます。道路や下水道等の維持管理費の負担が増していきます。住む場所をある程度集約し、コスパ(費用対効果)に強いまちづくり、また、農業に関しては、集約することで作業やコストにメリットが期待できます。次の世代に負のつけを回さないようにしたいものです。

議会日誌

5月

- 8日・議員懇談会
- 14日・初当選議員勉強会
- 17日・真岡地区防犯協会総会
- 21日・令和元年第2回芳賀町議会臨時会
・議員全員協議会
- 22日・例月現金出納検査
・奨学生選考委員会
- 23日・ボランティアセンターはが総会
・第60回芳賀町商工会通常総会
・町自治会連合会総会
・郡市町議会議長会定例会
- 24日・第30回芳賀町工業団地連絡協議会総会
- 27日・真岡線愛護会総会
・真岡線SL運行協議会総会
- 28日・全国町村議会議長研修会
- 29日・県町村議会正副議長研修会
・町政懇談会
- 31日・議員全員協議会
・議会運営委員会
・建設業協会・建災防芳賀町分会通常総会

6月

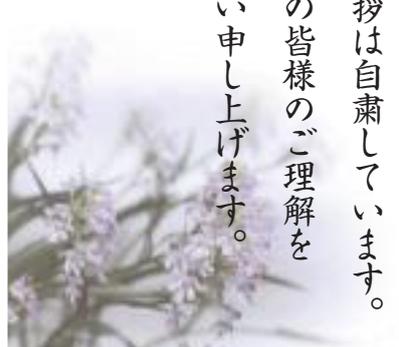
- 7日・芳賀地区広域行政事務組合臨時議会
- 9日・町消防団夏季点検及びポンプ車操法競技会
- 10日・第3回芳賀町議会定例会（～13日）
- 13日・一般社団法人真岡法人会芳賀支部総会
- 17日・芳賀郡中部環境衛生事務組合臨時議会
・芳賀中部上水道企業団臨時議会
・町シルバー人材センター定時総会
・町社会福祉協議会理事会
- 20日・町PTA協議会定期総会
- 21日・例月現金出納検査
- 27日・芳賀中部上水道企業団決算審査、例月検査
- 28日・第1回県町村議会議長会議・研修会

7月

- 7日・県消防協会芳賀支部消防操法大会
- 12日・議会広報常任委員会
- 22日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
・議会広報常任委員会
- 23日・例月現金出納検査
- 24日・県土整備委員会現地調査
- 25日・芳賀北部広域行政推進協議会
- 27日・而今荘開設33周年記念式典、納涼盆踊り大会
- 30日・初当選市町村議会議員研修会

謹告

芳賀町議会議員は、公職選挙法の趣旨を踏まえ、申し合わせにより初盆のご挨拶は自粛しています。町民の皆様のご理解をお願い申し上げます。



編集室

去る6月18日夜、新潟県で震度6強の地震が、昨年の北海道胆振東部地震に続き発生しました。年々多発する集中豪雨等も多大な被害と危険を及ぼしています。芳賀町は、災害の少ない所だと感じている人が多いと思いますが、いざという時のために家族と話し合い、避難所及び危険箇所の確認をし、また、地域が一体となった防災・減災につながる訓練等が必要だと考えます。今回の地震において被災

された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今年度芳賀町は、LRTの整備事業に伴い県道宇都宮茂木線及び町道台の原下原線の道路改良工事に着手する予定です。一日も早い完成を期待したいと思えます。町民皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

(委員長 岡田年弘)

■議会広報常任委員会

- 委員長 岡田 年弘
- 副委員長 山口 菊一郎
- 委員 江間 田信一
- 委員 小林 信二
- 委員 小林 俊夫



▲下延生城興寺のアオバズク